

先端的光学テクノロジーで拓ける有機エレクトロニクス

Advanced optical measurements in the field of organic electronics

先端的でありながら汎用性が高い基礎計測技術を推進している研究者の研究を、若手からベテランまで幅広く紹介し、活発な議論・研究交流を促す場としてシンポジウムを企画しました。特定の物理を探ることを目的として開拓された基礎計測技術が、ティッピング・ポイントを超えて大化けし、科学史に足跡を残すことはしばしばあります。本シンポジウムでは、先駆的で尖った光計測テクノロジーにフォーカスし、テラヘルツから放射光X線まで、近接場から6fs極短パルス分光まで、応用物理学会の内外から幅広いトピックスを集めました。

日時：2019年9月19日(木) 13:30~17:30 (予定)

宮田 潔志 (九州大)

超高速分光で検出する分子性材料の超高速電子/構造ダイナミクス

川上 洋平 (東北大)

単一サイクル光強電場が駆動する有機超伝導体の非線形電荷振動

西堀 英治 (筑波大)

先端高エネルギー光を利用した精密電子分布計測の現状

永村 直佳 (NIMS)

放射光軟X線オペランドナノ顕微分光によるデバイス表界面の多次元電子状態解析

井手口 拓郎 (東大)

先端光技術による振動分光

馬越 貴之 (大阪大)

近接場分光イメージング：高感度化、高速化、広帯域化で拓く材料分析

本シンポでは
一般講演も募集しています。

企画：有機ナノ界面制御素子研究会



世話人：貞方敦雄 (九州産業大)、永瀬隆 (大阪府立大)、酒井正俊 (千葉大)、島田敏宏 (北大)

問い合わせ先：sadakata@ip.kyusan-u.ac.jp